

令和2年度 松本市の

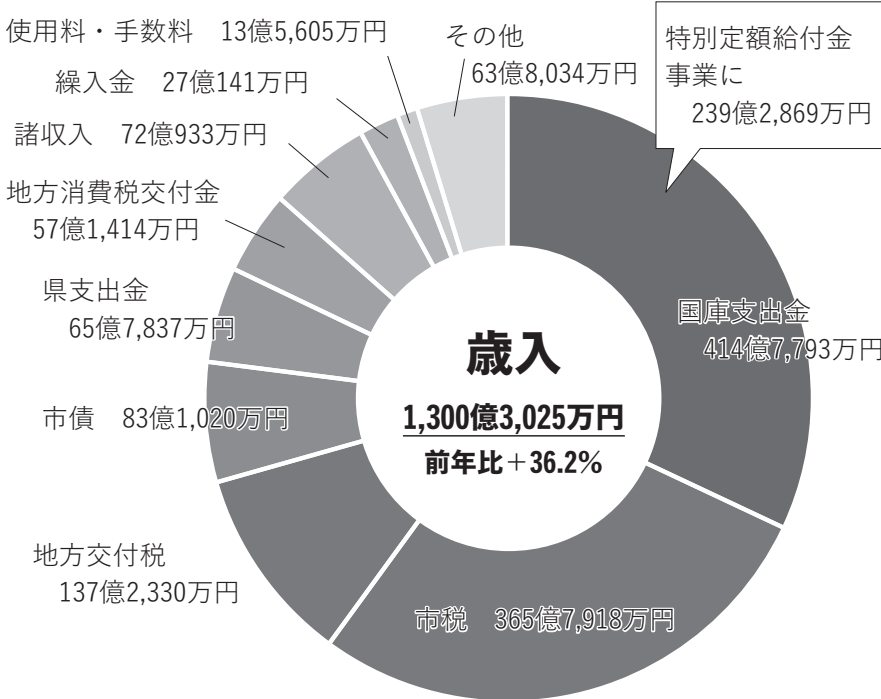
決算を報告します



●問い合わせ 財政課（本庁舎3階 ☎34-3273 📠33-1877）

令和2年度（令和2年4月1日～令和3年3月31日）の決算の概要を、一般会計・特別会計・企業会計別にお知らせします。

一般会計歳入



国庫支出金…国から支出された負担金・補助金・委託金

市税…市民税・固定資産税など

地方交付税…一定水準の行政を維持できるように国から配分されたお金

市債…道路や施設建設などのために借り入れたお金

県支出金…県から支出された負担金・補助金・委託金

地方消費税交付金…消費税のうち、地方に配分されたお金

諸収入…貸し付けたお金の回収金や、市預金の利子など

繰入金…基金を取り崩したり、特別会計から繰り入れられたお金

使用料・手数料…市営住宅の家賃や、体育館などの施設使用料など

その他…不要な土地を売り払った代金や、前年度からの繰越金など

特別会計

特別会計とは、特定の事業を行う場合または特定の収入で事業を行う場合に、経理を他の会計と区別するため、法律や条例に基づき設置している会計で、松本市には10の特別会計があります。令和2年度は、黒字が5会計、収支同額が5会計（歳入不足のため翌年度歳入から繰上げ充用した市街地駐車場事業を含む）となりました。

会計名	歳入	歳出	差引額	会計名	歳入	歳出	差引額
霊園	1億9,644万円	1億 203万円	+ 9,441万円	公設地方卸売市場	4億4,986万円	4億4,986万円	0円
地域排水施設事業	9,279万円	9,279万円	0円		1億8,646万円	2億 287万円	△1,641万円
国民健康保険	231億2,552万円	223億7,682万円	+ 7億4,870万円	市街地駐車場事業	※歳入不足額を翌年度歳入から繰上充用		+ 1,641万円
後期高齢者医療	31億7,570万円	30億8,266万円	+ 9,304万円			差引額計	0円
介護保険	222億2,563万円	220億1,133万円	+ 2億1,430万円	奈川観光施設事業	2億1,017万円	2億1,017万円	0円
農業集落排水事業	9,916万円	9,916万円	0円	松本城	5億9,672万円	5億2,281万円	+ 7,391万円

企業会計

企業会計とは、民間企業と同様に利用料金などの事業収益で運営される会計です。松本市には令和2年度末で4つの企業会計があり、3会計が黒字、1会計が赤字となりました。

会計名	総収益	総費用	当年度純損益	会計名	総収益	総費用	当年度純損益
水道事業	50億6,264万円	48億4,778万円	+ 2億1,486万円	病院事業	53億8,428万円	51億 715万円	+ 2億7,713万円
下水道事業	68億1,605万円	59億7,514万円	+ 8億4,091万円	上高地観光施設事業	1億7,015万円	2億3,522万円	△6,507万円

一般会計の歳入・歳出は新型コロナウイルス対策などにより、1000億円超で過去最高額！

市税が法人市民税の減により前年度比（以下同）2・0%の減、また新型コロナウイルス対策に関する補助金や交付金などの増により国庫支出金が248・0%増となったことなどにより、歳入全体は36・2%増加しました。

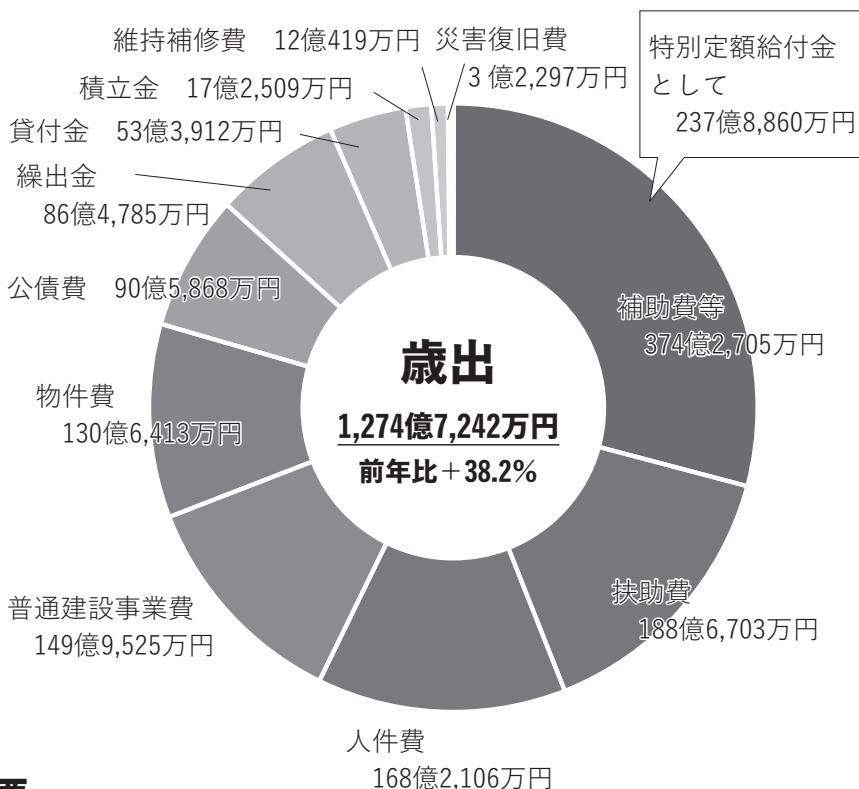
また、歳出は1人10万円給付の特別定額給付金事業や中小企業振興費の増により補助費が247・1%増加した他、中小企業金融対策預託金の増により貸付金が321・0%増、中小学校の空調設備を整備したことなどにより普通建設事業費が17・2%増となり、歳出全体は38・2%増加しました。

その結果、一般会計の収支は25億5783万円の赤字でした。
市の借金は35億円の減額

市債残高は前年度末と比べ、全体で35億円の減となりました。経常収支比率（財政の硬直性）は87・4%でした。類似都市の中では比較的良好な数値ですが、引き続き健全財政の維持に努めていきます。



一般会計歳出



- 補助費等…団体や事業への補助金など
- 扶助費…生活保護費、児童手当などの社会保障に関するお金
- 人件費…職員の給料や退職金、議員や各種委員の報酬など
- 普通建設事業費…道路・学校・保育園・体育施設など、公共施設の建設費
- 物件費…公共施設の維持管理に必要な光熱水費、委託料など
- 公債費…借入金の返済（元金と利子）
- 繰出金…国民健康保険や介護保険など特別会計へ支出したお金
- 貸付金…中小企業への貸付金など
- 積立金…基金への積立金
- 維持補修費…道路や公共施設などの補修費
- 災害復旧費…災害等で被害が出た道路等の復旧費

松本市の最新の財政指標

■健全な財政状況（健全化判断比率）

財政の健全度を示す指標は次のとおりです。いずれも早期健全化基準や財政再生基準を下回っており、健全な財政状況にあることを示しています。

指標名	松本市		早期健全化基準	財政再生基準
	2年度	元年度		
実質赤字比率	赤字なし	赤字なし	11.25%	20.0%
連結実質赤字比率	赤字なし	赤字なし	16.25%	30.0%
実質公債費比率	3.7%	4.2%	25.0%	35.0%
将来負担比率	将来負担なし	将来負担なし	350.0%	

実質赤字比率…普通会計（一般会計、霊園特別会計）の赤字額の割合
 連結実質赤字比率…市全体の赤字額の割合
 実質公債費比率…市税等の標準的な収入額のうち、市全体の借金返済額の割合
 将来負担比率…将来返済がほぼ確実な借金などの残高のうち、市税等で負担する割合
 資金不足比率…事業規模に対する資金不足額の割合

■公営企業も資金の不足なし（公営企業の資金不足比率）

松本市には、公営企業に分類される会計が9会計（水道事業など4企業会計と、地域排水施設事業など5特別会計）ありますが、資金不足を生じている会計はありませんでした。